令和7年度大船渡市 I L C 推進協議会総会 議事録

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 令和7年8月4日(月) 午後1時30分から午後2時
- (2) 場所 大船渡市民文化会館 1階 会議室

2 会員数 30人

3 出席者

(1) 会員 20人

- 大船渡市 I L C 推進協議会 (会長 瀧上清)
- 大船渡市議会 (議長 伊藤力也)
- 大船渡商工会議所 (会頭 米谷春夫)
- 大船渡国際港湾ターミナル協同組合 (理事長 細川廣行)
- (一社)大船渡市観光物産協会 (会長 齊藤俊明)
- 大船渡市水産振興連絡会 (会長 和田豊太郎)
- 岩手県建設業協会大船渡支部 (支部長 須賀芳也)
- 岩手県トラック協会大船渡支部 (事務局長 金野明日佳)
- 大船渡市社会福祉協議会 (会長 刈谷忠)
- 岩手県立大船渡高等学校 (校長 石井美樹子)
- 大船渡金融団 (当番幹事 佐藤博文)
- 大船渡市老人クラブ連合会 (会長 野村節三)
- 大船渡港振興協会 (会員 橋爪博志)
- 大船渡市各種女性団体連絡協議会 (会長 上関 みさ)
- 大船渡ロータリークラブ (会長 新沼和幸)
- 大船渡ライオンズクラブ (幹事 畠山幸志)
- 大船渡五葉ライオンズクラブ (幹事 千葉弘志)
- 大船渡市農業協同組合 (囑託 高橋俊裕)
- 大船渡市教育委員会 (教育長 小松伸也)
- 大船渡市小・中学校校長会 (赤崎小学校長 高室 敬)
- 岩手県沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター (主任 小野寺誠) (※オブザーバー)

(2) 事務局 7人

- 大船渡市副市長、I L C 推進室長、I L C 推進室次長、商工港湾部長、企業立地港湾課長
- 都市整備部長、建設課長

4 議事の経過

午後1時30分に大船渡市 I L C 推進室長の進行で開会した。

はじめに、本協議会瀧上清会長から下記のとおりあいさつがあった。

I L C に関しましては、現在、非常に重要な時期にあると言われており、世界に目を転じると、議論が進んでいる次期欧州素粒子物理戦略における新たな加速器施設の取扱いや、中国での円形大型加速器に係る建設計画が、非常に注目される状況にある。

I L C を取り巻く環境が、複雑に変化を続ける中で、日本政府による、一日も早い実現に向けた前向きな態度表明が必要とされており、国内では、昨年12月に、自由民主党の政務調査会科学技術・イノベーション

ン戦略調査会による、I L Cに関する有識者ヒアリングが実施され、「I L Cに関する議論のステージが上がった」と捉えられる等、先を見据えた動きも感じられるところである。

当市においても、本年1月から2月にかけて、欧州のCERNを始めとした国際的な加速器施設の視察に赴き、加速器の研究状況の把握や現場の研究者との意見交換等を行ったほか、5月には、I L C実現に向けた東北関係者による合同要望にも参加し、国へ強く要望する等、各般の取組を積極的に進めている。

しかしながら、更に重要な時期である今こそ、これからの数か月こそ、当推進協議会を含めた関係機関・団体が緊密に連携し、「オール岩手」、「オール東北」の態勢により、関係する取組をより強化しなければならないと考えている。

皆様には、こうした事情を深く御理解いただき、一層の御尽力をお願い申し上げます。

ここからは、大船渡市I L C推進協議会規約第6条第1項の規定により、淵上会長が議長となり進行した。

○ 議案第1号 令和6年度事業報告について

事務局の大船渡市I L C推進室次長が、総会資料に基づき議案第1号について説明した。
質疑等はなく、議案第1号は承認された。

○ 議案第2号 令和7年度事業計画（案）について

事務局の大船渡市I L C推進室次長が、総会資料に基づき議案第2号について説明した。
下記のとおり質疑があった。

質問者：去年に比べ、世界情勢が大きく変遷している。その中でも米国はI L C実現において大切な存在だと思うが、トランプ大統領が就任してからの米国の考え方はわかるか。

事務局：昨年度のP5（米国素粒子物理学プロジェクト優先順位決定委員会）の答申において、I L Cの実現に当たり、一定の費用負担をすることが報告されているが、トランプ政権になってからは、予断を許さないものとして注視している。

質問者：「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」は、子ども向けのイベントのようである。I L Cの普及啓発につながるのなぜか。

また、大人向けの普及啓発及び産業まつりのブース出展について、どのようなものだったのか伺いたい。

事務局：「なぜなにレクチャー」は、I L Cの普及啓発に直接つながるものではないが、子どもが工作を通じて、科学に関する興味を高めることで、I L Cにも興味を持たせることを意図したものであり、併せてI L Cに関するパネル展示や普及啓発品の配布等も実施している。

なお、昨年度は、会場をサンリアショッピングセンターにすることで、買い物客等が目に触れる機会の創出も意識して開催したものである。

今後も、この方針で進めることとし、普及啓発に努めたい。

また、大人向けの普及啓発については、昨年はセミナー等を市内で3回開催している。

産業まつりのブース出展については、商工港湾部と連携し、まつり会場において、I L Cに関するパネル展示のほか、パンフレット、ノベルティ等を配布したものである。

質疑終了後、議案第2号は承認された。

○ 議案第3号 役員の改選について

事務局の大船渡市 I L C 推進室次長が、総会資料に基づき議案第3号について説明した。

説明後、議長が各会員に選出方法を諮ったところ、事務局案提示との発言があったことから、事務局案を配布した。

その後、同案に基づき、任期を令和9年度総会の日までとして、会長に淵上大船渡市長、副会長に伊藤大船渡市議会議長及び米谷大船渡商工会議所会頭を選出した。

以上をもって、議事は終了した。

次に、次第「4 その他」については発言がなく、閉会した。

なお、総会終了後、東北 I L C 事業推進センター主催による I L C 計画現状説明会が開催され、I L C 計画の最新の動向について、同センター代表で岩手県立大学 鈴木厚人学長から講演があった。